



(仮称) 江戸川区角野栄子児童文学館

基本設計 概要版

-Schematic Design Summary-

-きほんせつけい

がいようばん-



目次



- これまでの経過 …1
- 建築 施設コンセプト・建築コンセプト・計画概要 …2
- 建築 配置計画・ゾーニング計画・断面計画・ユニバーサルデザイン計画 …3
- 建築 内装計画・外装計画 …4
- 造園 ランドスケープコンセプト・動線計画・景観計画・園路計画 …5
- 造園 ものがたりの丘の計画 …6
- 展示 展示コンセプト・各ゾーンの概要 …7
- 展示 イメージ図 …8-10



■ これまでの経過



「国際アンデルセン賞 作家賞」受賞
平成30（2018）年8月



「江戸川区 区民栄誉賞」受賞
平成31（2019）年 1月



「相互協力・連携確認書」取り交わし
令和元（2019）年5月



「基本構想」公表
令和元（2019）年9月



「設計パートナー」決定
令和2（2020）年1月



「基本設計」公表
令和2（2020）年10月

■ 建設予定地（なぎさ公園）について

- 角野さんの世界観を表現する施設にふさわしい場所として、「なぎさ公園」を建設予定地と選定。「なぎさ公園」は、園内のいたるところに四季折々の花が咲き、樹木や芝生などの緑に囲まれた素晴らしい環境です。この風景と一体となった児童文学館を建設し、多くの皆さんに愛され、全国、世界の子どもたちが集う場所を目指します。
- 建設地
東京都江戸川区南葛西七丁目 3 番 1 号
総合レクリエーション公園内 なぎさ公園展望の丘



■ 今後のスケジュール

～令和2年度末	実施設計完了
令和3年度～令和5年度	整備工事
令和5年7月	開館予定

00.施設コンセプト

「子どもたちが心を動かして、面白さを見つけ、感じて、

そこから自分の世界を発見して、想像力豊かな心を育めるような施設」

01. 建築コンセプト

- 丘の一部として建築・造園・展示が一体的につながる「ものがたりの世界」
なぎさ公園の豊かな緑を保全し、丘の一部として、建築・造園・展示が一体的につながる環境として「ものがたりの世界」を整備します。「ものがたりの世界」は、室内で完結する閉じた箱ではなく、子どもたちが自らの意思で角野さんの世界に触れてみたいくなる、周囲に開かれた能動的な環境となることを目指します。

02. 計画概要

建設地 東京都江戸川区南葛西七丁目3番1号(なぎさ公園)
敷地面積 約63,028㎡ (=19,065.97坪)
構造種別 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造
階数 地上3階
建築面積 1,190.80㎡
延べ床面積 1,613.95㎡



丘の下から児童文学館を見る

[丘の一部として建築・造園・展示が一体的に繋がる『ものがたりの丘』]

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

03. 配置計画

■ 人と緑と活動をつなぐ、丘と一体化した建築

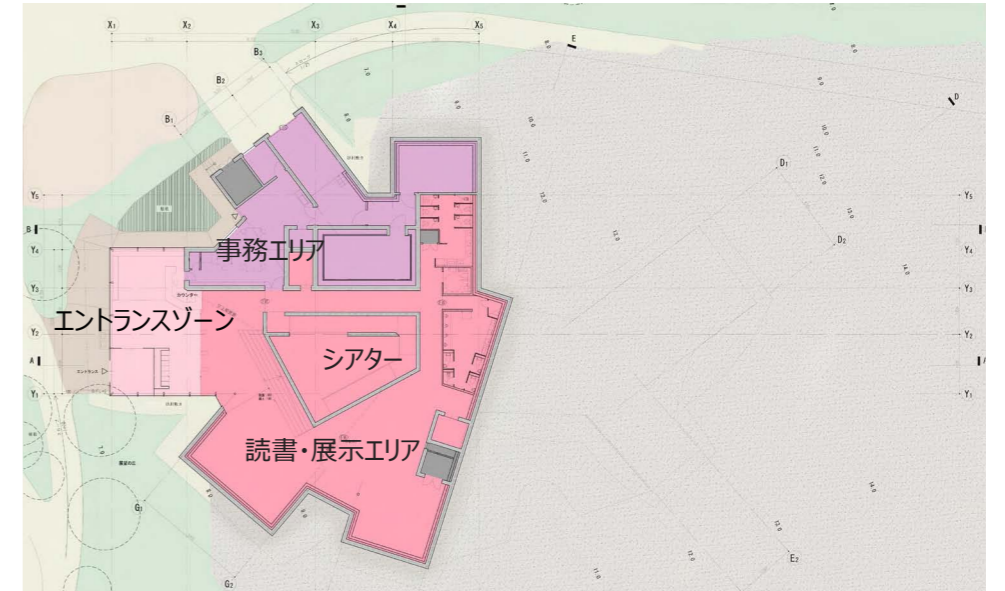
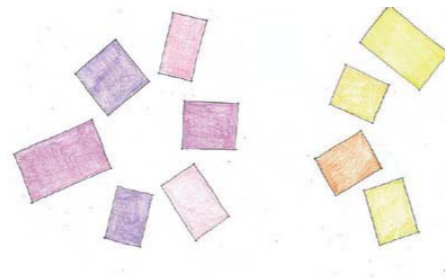
- 見晴らしの良い丘の頂きとポニーランドを結んだ軸線上に、丘と一体化した建築を配置し、公園内の活動をつなぎ活性化させます。ソメイヨシノやケヤキ、ツツジ等、展望の丘を彩る既存樹を出来るだけ保全し、多くの人に親しまれている展望の丘の景観を継承します。
- 一部のエリアを地中に配置して、丘から大きく突出しないヴォリュームにします。
- 既存樹木を積極的に活用したランドスケープとします。



[人と緑と活動をつなぐ、丘と一体化した建築]

■ 丘に溶け込む「おうち」のような小箱の集まり

- 角野さんの世界に登場する「おうち」のような小箱が集まった構成とし、子どもたちの身体スケールに馴染む空間をつくります。
- 小箱の構成は、緩やかに起伏する丘とも馴染み、緑豊かな公園環境との調和を図ります。



[1階平面図]

04. ゾーニング計画

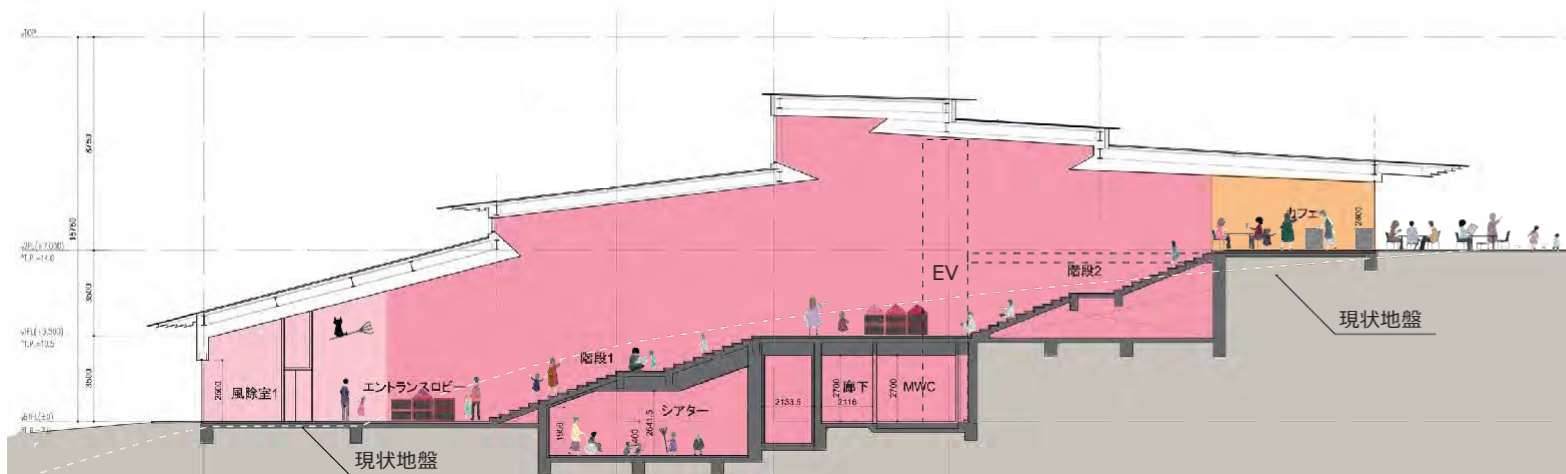
- 1階に、読書・展示エリアを設けます。ものがたりに触れるきっかけをつくり、子どもたちの想像力を引き出します。
- 2階は、展示室と読書エリアを設けます。展望の丘を臨める、明るく開放的な読書テラスをつくります。
- 3階は、カフェゾーンを設けます。

06. ユニバーサルデザイン計画

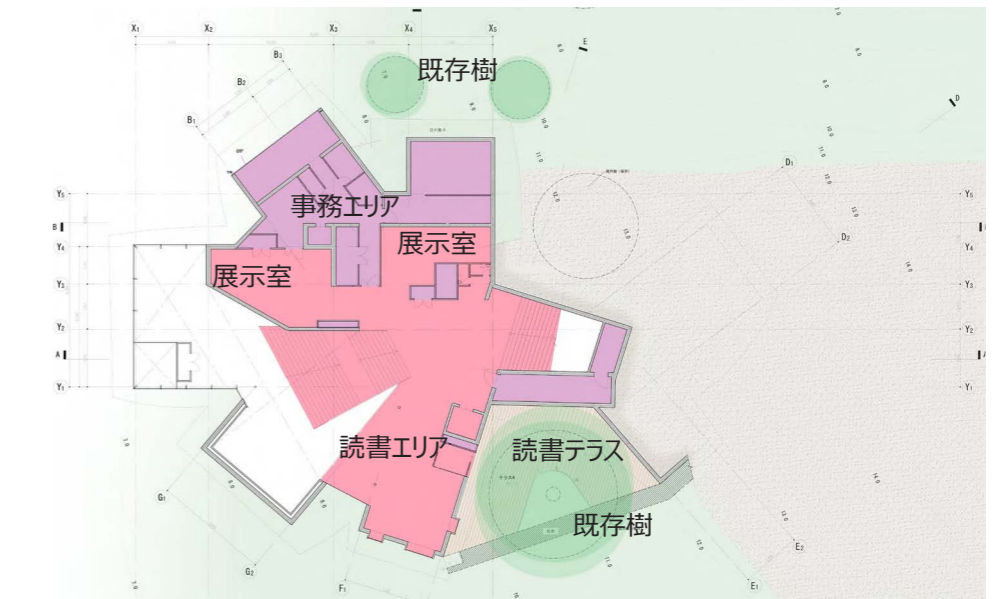
- 子ども連れ、障がい者、高齢者の来館者等の幅広いニーズに対応した計画を行います。
- すべての階段は、踏面を広く、蹴上を低くし、勾配の緩やかな計画とし子どもや高齢者に配慮します。
- 施設の中央にエレベーターを設置し、車椅子やベビーカー利用者に配慮します。

05. 断面計画

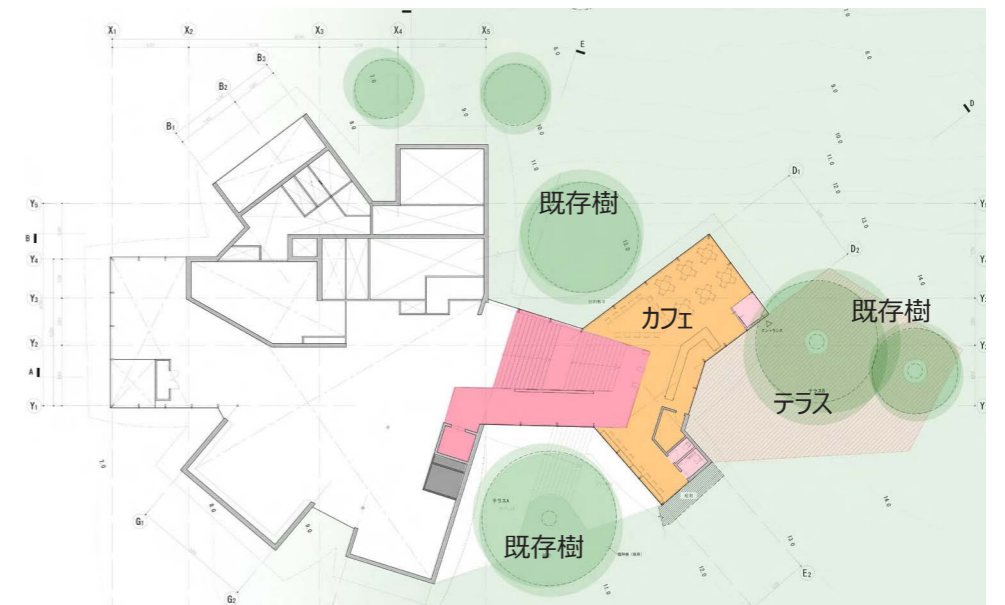
- 周辺のスケール感に配慮し、建物高さを可能な限り抑えとともに、ボリュームの分節やセットバックを採用することで周辺に対する圧迫感を和らげる計画とします。



[断面図]



[2階平面図]



[3階平面図]

06.内装計画

■角野さんの世界観をつくる「いちご色」

- 角野さんのテーマカラーである「いちご色」を基本色としたカラーパレットを用い、角野さんの世界観が空間全体で体感できる内装デザインとします。

07.外装計画

■丘の大地と響きあう「フラワーーフ」

- 屋根は花のように軽やかなひろがりをつくるフラワーーフとします。特徴的なフラワーーフは、丘に華やかな印象をつくります。

■「いちご色」を引き立てるニュートラルホワイト

- 室内で展開される「いちご色」のファーストインプレッションを高めるために、外装（外壁、窓枠、屋根等）の色は「いちご色」と対比したシンプルなニュートラルホワイトにします。
- ニュートラルホワイトは、窓越しに見える室内の「いちご色」を引き立て、それを印象的に表出させます。
- 深い庇による影の濃淡や、朝から夕に移ろい変化する淡い光の色を繊細に表出させるニュートラルホワイトは、無垢な白いキャンバスとなって、四季折々に変化する周囲の公園環境に溶け込みます。

■内外を繋ぐ「おおきな窓」と家のようなスケールをつくる「しかくい窓」

- 出入口部分は内外の見通しをつくる「おおきな窓」にし、気軽に入りやすいアプローチをつくります。
- 外壁には大きさや高さが違う「しかくい窓」を設け、家のようなスケールをつくります。「しかくい窓」は風景を切り取るピクチャーウィンドウや、情報を発信する展示ケースとして機能します。



[夏]



[秋]



[冬]



[気軽に入りやすい透明感のあるガラスファサード]



[人と緑と活動をつなぐフラワーーフの建築][春]

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

01.ランドスケープコンセプト

■ 緩やかな丘が連続する一体的な空間

- 子どもたちが角野さんの世界観を楽しめるよう、自然と触れあいながら、自ら遊びを発見する場として整備します。
- 児童文学館の前庭は、展望の丘から地形が緩やかにつながる「ものがたりの丘」として整備します。ものがたりの丘の西側に隣接するポニーランドの放牧場は、児童文学館の建設に伴い拡張します。

02.動線計画

■ 来園者とパノラマシャトルの動線の分離

- 児童文学館とものがたりの丘、ポニーランドに囲まれたエリアは、人が中心の空間として整備し、パノラマシャトルはその外周部を巡るよう歩行者動線と分けて整備します。
- パノラマシャトルは、展望の丘、児童文学館、ものがたりの丘、ポニーランド等をゆっくり巡り、児童文学館と一体的に整備された景観を眺めることができます。

03.景観計画

■ 四季折々の表情が楽しめる花の名所づくり

- 既存のカワヅザクラやツツジ、アジサイなどを活かし、展望の丘のツツジ山の魅力を高め、新たに「花の名所」をつくります。四季折々の花を整備することにより、児童文学館だけでなく、なぎさ公園を訪れる多くの皆さんに楽しんでいただけます。
- 1月ロウバイ、2～3月サクラ、4～5月ツツジ、6月アジサイ、8～9月サルズベリ、11～12月紅葉など、一年を通して楽しめる植栽を計画します。

04.園路計画

- 児童文学館へのアプローチは、ポニーランドとものがたりの丘を通るルート、森のトンネルを通るルート、展望の丘の花の名所を通るルートの3ルートを設け、それぞれ特徴的なシーケンス（移動景観）を演出します。



[展望の丘からポニーランドまで一体となる空間]



[全体平面図]

地図情報提供元: Google, ©2020 ZENRIN

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

05.ものがたりの丘の計画

児童文学館の前庭として、子どもたちが安心して遊べる「ものがたりの丘」をつくります。

■ オリジナルデザインの遊具

- 子どもたちが自らの意思で活動する場をコンセプトに、子どもたちの遊びの行動特性に沿った「楕円形状の遊環構造」とします。
- 滑り台を中心に、飛び石、ボルタリングなどが連続する遊具は、登ったり、滑ったり、はねたり、掴むなど、多様な運動動作を誘発します。
- 長期にわたる維持管理に対応するような安全性、耐久性、経済性に優れ、周辺環境に調和する仕上げ材としてクッション素材を採用し、色彩は児童文学館の外装計画に沿ってホワイトを採用します。

■ アプローチを演出するまるまるの木

- 児童文学館の前庭となるものがたりの丘に、可愛いフォルムの「まるまるの木」を特徴的に整備します。
- 子どもが活動の中心となるため、「まるまるの木」は高さを揃えず、アットランダムな配植で景観植栽を行い、児童文学館への期待感を高めるシークエンス（移動景観）によって魅力的な演出を図ります。
- 「まるまるの木」の間に、ものがたりの丘の緩斜面に沿ってロングベンチを整備します。



[児童文学館の前庭となるものがたりの丘]

■ けやきテラスとこもれび広場

- 児童文学館前に新たなパノラマシャトルの停留所を設置します。
- ケヤキやイチョウの既存樹木を保全した場所にけやきテラスを整備し、待ち合わせや休憩の場として活用します。
- ものがたりの丘の遊具やポニーランドで遊ぶ子どもを見守る方々のため、ものがたりの丘の既存トイレのそばに緑陰効果の高い樹木を植栽し、こもれび広場を整備します。
- こもれび広場とけやきテラスは、子どもから大人まで、様々な楽しみ方ができるように、色々なタイプのベンチを設置します。

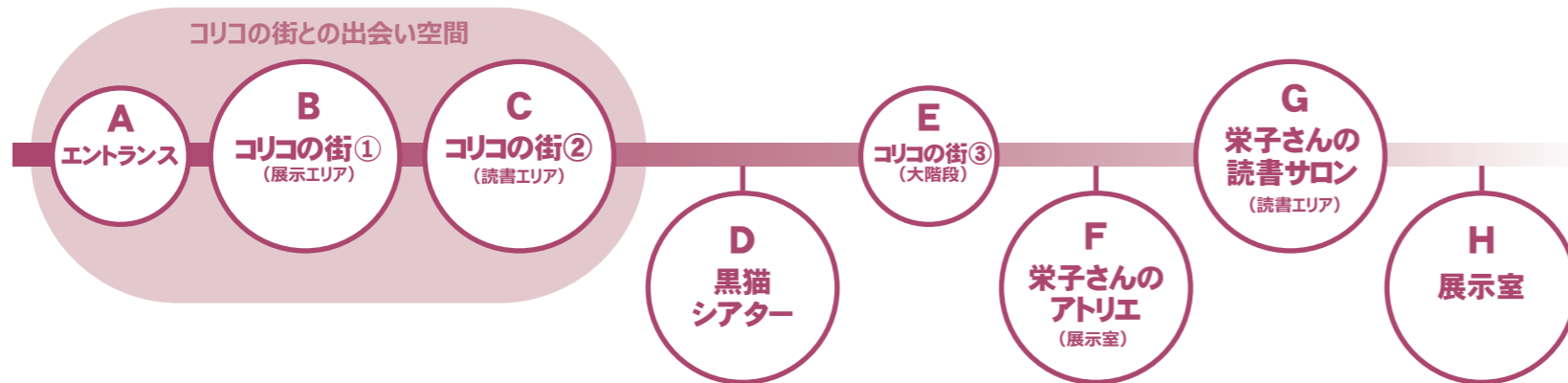


[森のトンネルとけやきテラス]

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

01. 展示コンセプト

- 「児童文学館」の理念は、情報を外から与えられることに慣れている昨今の子ども達が、ここでは情報を与えられること無くその場で何かを自分の五感で感じ取り、考え、想像力を育みながら楽しめる場とすることです。
- 子どもの自発的な行動を促すために、普段の生活とは異なる空間、子どもたちにとって印象的な世界をつくります。
- 子どもたちの印象に残り、想像力を動かすきっかけとして、圧倒的な色の世界を、角野さんのテーマカラー＝「いちご色」でつくります。内装は統一感を持たせ他の色を加えずいちご色一色で表現します。



02. 各ゾーンの概要

A. エントランス

- 物語から飛び出した巨大なキキとジジが出迎えます。「児童文学館」に入ったワクワク感を演出します。

B. コリコの街①

- 角野作品の代表作のキャラクターたちに出会う、ちょっと不思議な「魔女の宅急便」のコリコの街を創出します。
- 現実世界には無い、いちご色一色の世界に驚き、想像力が動き出す。その想像力をさらに動かすため、コリコの街の家のフォルムを特徴的なものにします。

C. コリコの街②

- 角野さんの作品を読むことができるライブラリー。
- コリコの街の空間で角野作品の世界に浸り、物語をじっくり楽しむ場とします。
- 児童文学のノーベル賞ともいわれる国際アンデルセン賞受賞を通じて、角野作品の世界的な評価もあわせて紹介します。

D. 黒猫シアター

- あなぐらのような場所で、物語世界を体感したり、演じたり、語ったりするアクティブな物語体験を行うインタラクティブシアターです。

E. コリコの街③

- 1階と2階をつなぐコリコの街の大階段です。読み聞かせやイベントなどを行う場としても活用します。

F. 栄子さんのアトリエ

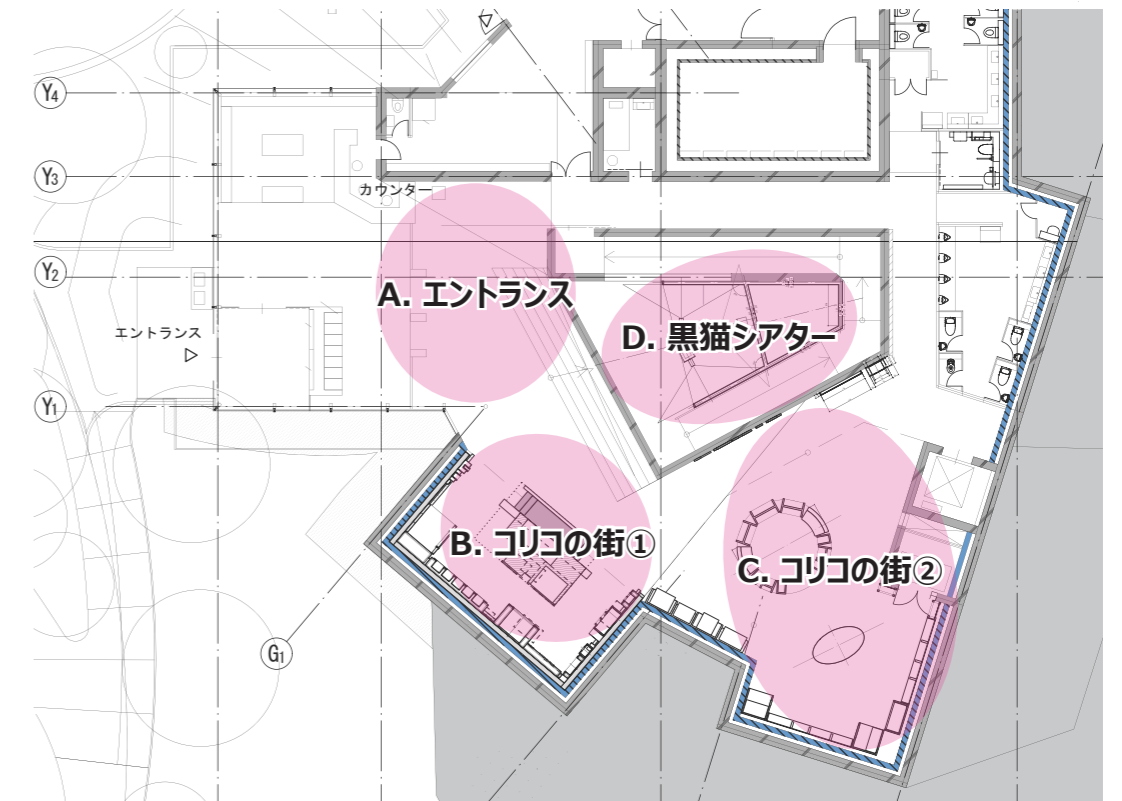
- 角野さんがそこで執筆しているかのようなもう一つのアトリエとなる創作現場の再現空間。これまでの歩みや創作の一端にも触れられる場とします。

G. 栄子さんの読書サロン

- 角野さんの作品テーマをより深める読書エリア。「旅」「魔法」「オノマトペ」「料理」等の本を読むことができるとともに、関連するアイテム等から作品世界を読み解くことができるライブラリーとします。また、江戸川区ゆかりの作品も読める場とします。
- 子どもたちが思い思いに座って本を読んだりする、想像力が膨らむ大きなテーブルを設けます。

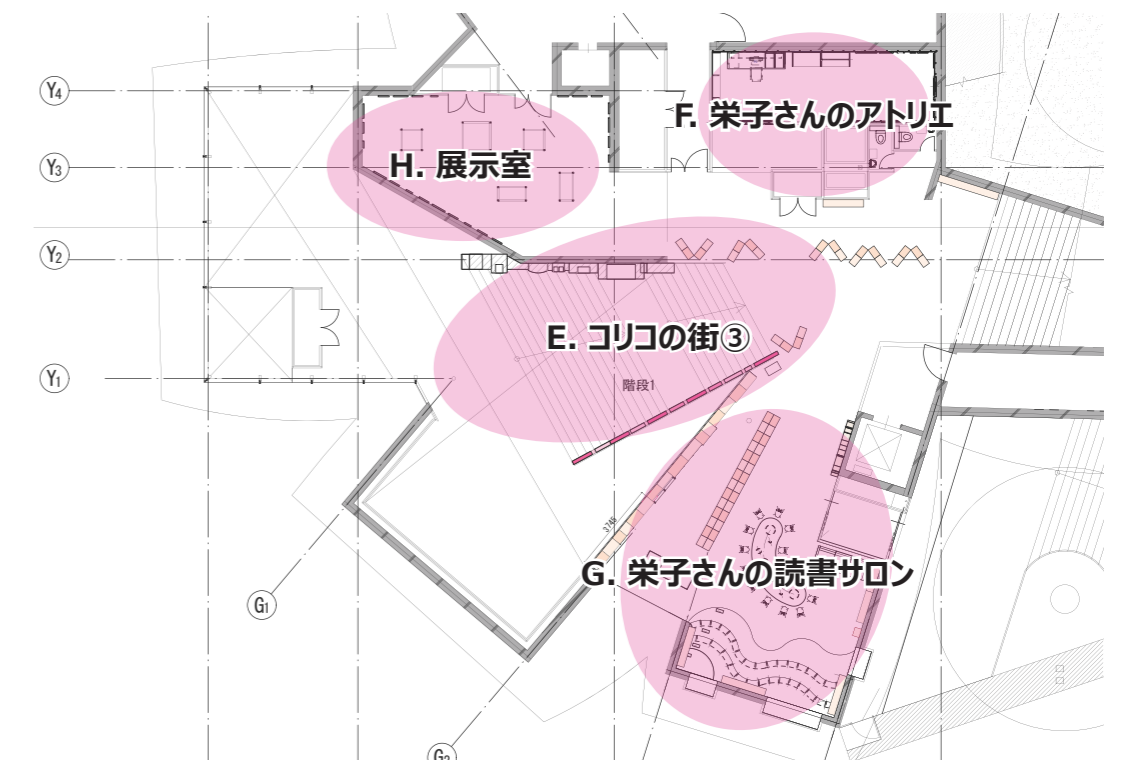
H. 展示室

- 多様な展示を行う場とします。



[1階ゾーニング図]

S=1/300



[2階ゾーニング図]

S=1/300

03. イメージ図

イメージスケッチ：くぼしまりお氏

1階

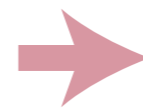
B.コリコの街①（展示エリア）

角野作品の代表作のキャラクターたちに出会う、ちょっと不思議なコリコのまちかど



イメージパース

キキたちが登場する演出を
時間によって行います



イメージパース



イメージスケッチ



イメージスケッチ



イメージスケッチ

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

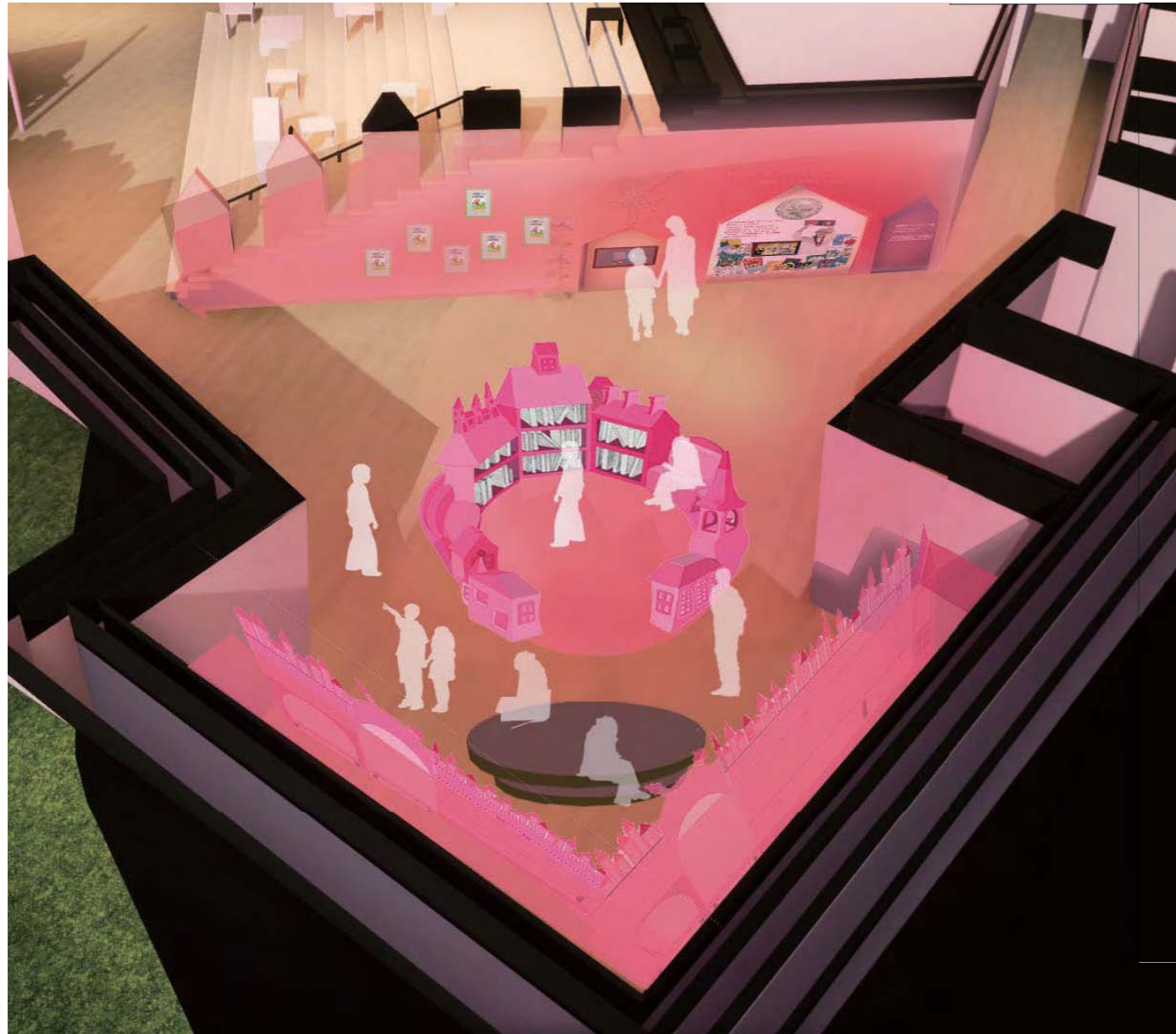
03. イメージ図

イメージスケッチ：くぼしまりお氏

1階

C.コリコの街②（読書エリア）

角野さんの作品を読むことができるライブラリー。コリコの街の空間で角野作品の世界に浸り、物語をじっくり楽しむ場



イメージスケッチ



楕円フラット低イス イメージスケッチ



イメージスケッチ

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

03. イメージ図

イメージスケッチ：くぼしまりお氏

1階

A. エントランス

物語から飛び出した巨大なキキとジジが出迎える



展開図

E. コリコの街③（大階段）

1階と2階をつなぐコリコの街の大階段



イメージスケッチ



イメージスケッチ

2階

F. 栄子さんのアトリエ（展示室）

栄子さんがそこで執筆しているかのような、もう一つのアトリエとなる創作現場の再現空間



イメージパース

G. 栄子さんの読書サロン（読書エリア）

角野さんの作品テーマをより深める読書エリア



イメージパース

H. 展示室

多様な展示を行う場



イメージパース

※現時点でのイメージであり、実際とは異なる場合があります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



江戸川区は、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けてSDGsに積極的に取り組んでいます。

本をひらけば
たのしい世界



(仮称) 江戸川区角野栄子児童文学館 基本設計

令和2年(2020年)10月

《編集・発行》

●有限会社 角野栄子オフィス

〒133-0051
江戸川区北小岩2-2 1-1 2

イラスト：くほしま りお氏

●江戸川区新庁舎・大型施設建設推進室
施設計画課児童文学館開設準備担当係

〒132-8501
江戸川区中央1-4-1 第三庁舎別館
TEL 03 (5662) 2605

●隈研吾建築都市設計事務所

協力：造園 クロス・ポイント

展示 乃村工藝社